



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 日本ケミファ株式会社

コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 一城

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 安本 昌秀

TEL 03-3863-1211

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,609	19.4	2,319	74.9	2,249	83.1	1,343	101.3
24年3月期第2四半期	13,914	4.9	1,325	47.6	1,228	49.6	667	663.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,340百万円 (94.7%) 24年3月期第2四半期 688百万円 (172.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	32.73	32.72
24年3月期第2四半期	15.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	37,746	11,359	30.1	276.49
24年3月期	33,790	10,230	30.3	248.92

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,351百万円 24年3月期 10,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	12.2	3,500	19.7	3,300	18.9	1,800	25.1	43.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、【添付資料】P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	42,614,205 株	24年3月期	42,614,205 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,558,365 株	24年3月期	1,541,997 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	41,063,594 株	24年3月期2Q	42,024,314 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、国内では東日本大震災からの復興という大きな課題に取り組む傍ら、欧州ソブリンリスクに端を発した急激な円高の進行や世界経済見通しの後退等、マクロ経済環境への対応も迫られており、先行きの不透明感が払しょくできない状況が続いております。

医薬品業界におきましては、政府による社会保障財政支出抑制への取り組みの一環として、ジェネリック医薬品の更なる使用促進に向けた環境整備が進められました。

このような環境下で、当社グループは「信頼できるジェネリック医薬品」の普及に貢献するべく、新薬メーカーとして培ってきた「安心と安全」をベースとして、ジェネリック医薬品の高品質維持と生産性及び効率性の向上への取り組みをより一層推し進めてまいりました。

また、これらの活動に加えて、株主還元水準の向上を図るべく、前連結会計年度におきまして、自己株式の取得並びに増配を実施させていただきました。

(医薬品事業)

医薬品事業の業績はジェネリック医薬品の売上が前年同期比 29.0%の増収となったことにより、医薬品事業全体の売上高は 16,046 百万円（前年同期比 19.8%増）、営業利益は 2,374 百万円（前年同期比 85.8%増）となりました。

(その他)

主に受託試験事業、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業である「その他」の事業の業績は、受注が堅調に推移し、売上高は前年同期比 40 百万円増収の 563 百万円（前年同期比 7.7%増）となりましたが、営業利益は市場競争の激化等により 54 百万円の損失（前年同期は営業利益 18 百万円）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 16,609 百万円（前年同期比 19.4%増）、営業利益は 2,319 百万円（前年同期比 74.9%増）、経常利益は 2,249 百万円（前年同期比 83.1%増）、四半期純利益は 1,343 百万円（前年同期比 101.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

1) 資産

流動資産は前連結会計年度末に比べて 3,479 百万円増加し、24,040 百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べて 478 百万円増加し、13,694 百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて 3,955 百万円増加し、37,746 百万円となりました。

2) 負債

流動負債は前連結会計年度末に比べて 2,584 百万円増加し、15,456 百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べて 242 百万円増加し、10,930 百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて 2,827 百万円増加し、26,387 百万円となりました。

3) 純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて 1,128 百万円増加し、11,359 百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上により利益剰余金が 1,136 百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物は、営業活動により86百万円増加いたしました。また投資活動においては416百万円の減少、財務活動においては463百万円の増加となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は6,732百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金は売上債権の増加及び法人税等の支払があったものの、主に税金等調整前四半期純利益及び仕入債務の増加により、86百万円の増加（前年同期は15百万円の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金は主に固定資産及び投資有価証券の取得により、416百万円の減少（前年同期は79百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金は長期借入金の返済及び配当金の支払があったものの、主に長期借入れがあり、463百万円の増加（前年同期は754百万円の増加）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成24年5月11日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,677	6,863
受取手形及び売掛金	9,067	11,559
商品及び製品	2,766	3,517
仕掛品	685	604
原材料及び貯蔵品	595	593
繰延税金資産	656	767
その他	111	136
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	20,561	24,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,221	3,386
機械装置及び運搬具(純額)	746	1,003
工具、器具及び備品(純額)	185	250
土地	5,550	5,550
リース資産(純額)	439	423
建設仮勘定	—	3
有形固定資産合計	10,143	10,618
無形固定資産		
のれん	519	432
リース資産	101	85
ソフトウェア	21	16
電話加入権	20	20
無形固定資産合計	662	554
投資その他の資産		
投資有価証券	938	1,034
長期貸付金	7	7
長期前払費用	14	12
敷金及び保証金	104	108
繰延税金資産	310	313
その他	1,098	1,107
貸倒引当金	△64	△60
投資その他の資産合計	2,410	2,521
固定資産合計	13,215	13,694
繰延資産		
社債発行費	14	11
繰延資産合計	14	11
資産合計	33,790	37,746

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,981	6,197
短期借入金	540	680
1年内償還予定の社債	370	370
1年内返済予定の長期借入金	2,880	3,258
リース債務	136	140
未払金	45	162
未払法人税等	832	1,032
未払消費税等	77	124
未払費用	2,170	2,206
預り金	91	101
返品調整引当金	4	3
販売促進引当金	315	323
その他	425	854
流動負債合計	12,871	15,456
固定負債		
社債	735	550
長期借入金	7,042	7,449
リース債務	436	401
退職給付引当金	783	815
役員退職慰労引当金	289	312
受入敷金保証金	9	9
再評価に係る繰延税金負債	1,391	1,391
固定負債合計	10,688	10,930
負債合計	23,560	26,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	2,835	3,972
自己株式	△470	△476
株主資本合計	7,966	9,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	23
土地再評価差額金	2,230	2,230
その他の包括利益累計額合計	2,257	2,253
新株予約権	7	8
純資産合計	10,230	11,359
負債純資産合計	33,790	37,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日)
売上高	13,914	16,609
売上原価	6,298	7,844
売上総利益	7,616	8,764
返品調整引当金戻入額	0	0
差引売上総利益	7,616	8,764
販売費及び一般管理費	6,290	6,444
営業利益	1,325	2,319
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	16	14
固定資産賃貸料	8	8
持分法による投資利益	5	5
補助金収入	10	17
その他	11	10
営業外収益合計	53	57
営業外費用		
支払利息	104	93
手形売却損	7	7
支払手数料	13	12
その他	24	14
営業外費用合計	151	127
経常利益	1,228	2,249
特別損失		
固定資産除却損	12	14
その他の投資評価損	8	—
貸倒引当金繰入額	21	—
災害による損失	40	—
特別損失合計	82	14
税金等調整前四半期純利益	1,145	2,234
法人税、住民税及び事業税	477	999
法人税等調整額	0	△109
法人税等合計	477	890
少数株主損益調整前四半期純利益	667	1,343
少数株主利益	0	—
四半期純利益	667	1,343

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	667	1,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	△3
その他の包括利益合計	20	△3
四半期包括利益	688	1,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	688	1,340
少数株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,145	2,234
減価償却費	347	387
社債発行費償却	3	2
のれん償却額	86	86
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	21	△2
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	0	7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	45	32
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2	22
受取利息及び受取配当金	△17	△14
支払利息	104	93
手形売却損	7	7
固定資産除却損	19	19
その他の投資評価損	8	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△866	△2,492
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△874	△668
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	23	△25
仕入債務の増減額 (△は減少)	689	1,215
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	63	10
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△92	49
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△1	2
その他	1	2
小計	712	970
利息及び配当金の受取額	20	16
利息の支払額	△116	△99
法人税等の支払額	△631	△801
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15	86
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28	△70
定期預金の払戻による収入	30	18
固定資産の取得による支出	△366	△242
投資有価証券の取得による支出	△2	△105
貸付けによる支出	△4	△1
貸付金の回収による収入	1	2
差入保証金の回収による収入	11	4
長期預金の払戻による収入	500	—
長期預金の預入による支出	△200	—
その他の支出	△11	△11
その他	△8	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79	△416

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	148	140
長期借入れによる収入	2,800	2,350
長期借入金の返済による支出	△1,431	△1,564
社債の償還による支出	△235	△185
金銭の信託の増減額 (△は増加)	△262	—
配当金の支払額	△126	△206
その他	△137	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	754	463
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	659	133
現金及び現金同等物の期首残高	5,009	6,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,668	6,732

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	医薬品事業				
売 上 高					
外部顧客に対する売上高	13,391	523	13,914	—	13,914
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	42	64	△ 64	—
計	13,413	565	13,978	△ 64	13,914
セグメント利益	1,277	18	1,295	30	1,325

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康・美容関連事業、安全性試験の受託等及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額30百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売 上 高					
外部顧客に対する売上高	16,046	563	16,609	—	16,609
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	0	7	△ 7	—
計	16,053	563	16,617	△ 7	16,609
セグメント利益又は損失(△)	2,374	△ 54	2,319	—	2,319

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。